

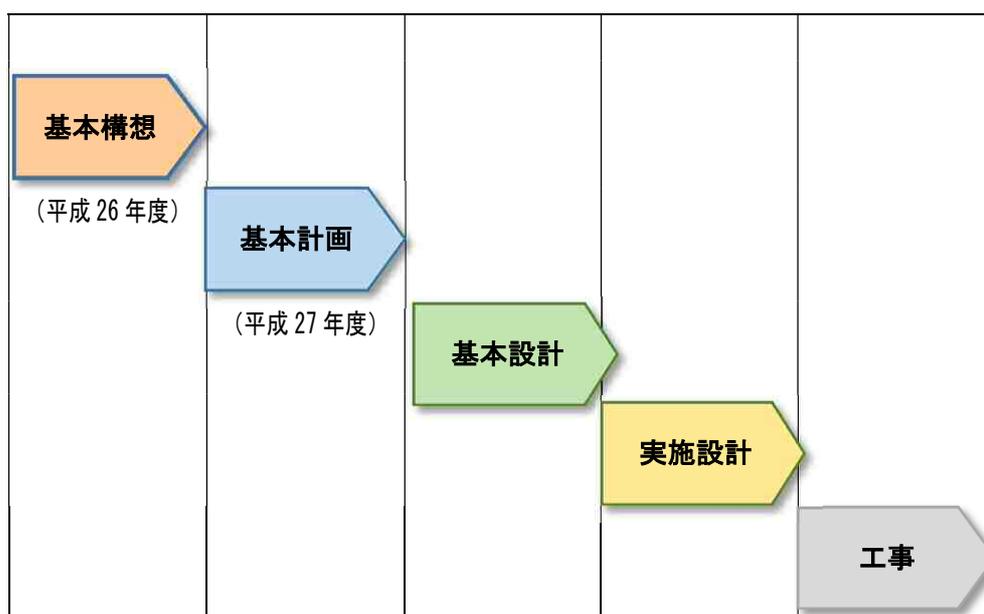
VI. 整備スケジュール及び財政計画の検討

1. 整備スケジュールの作成

本庁舎の耐震化は、南海トラフ地震も踏まえ、喫緊の課題であるため、できるだけ早期の実現が望まれます。

平成27年度に基本計画を策定し、早期の完成を目指し、事業手法、財政計画を考慮し、スケジュールの調整を図ります。

図 VI-1. 1 事業スケジュール



2. 財政計画

新庁舎整備に係る財源は、庁舎等整備基金を基本とし、これに加えて補助金や合併特例債などの交付税算入のある有利な起債等の活用を検討します。

今後基本計画を策定する中で、具体的な機能や規模を検討し、事業費の算定及び必要な財源の確保について具体的な財政計画の策定を行います。